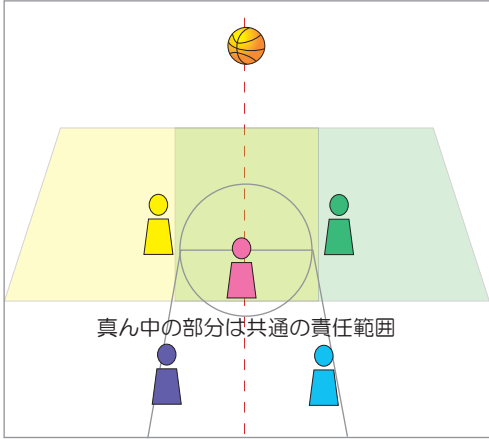


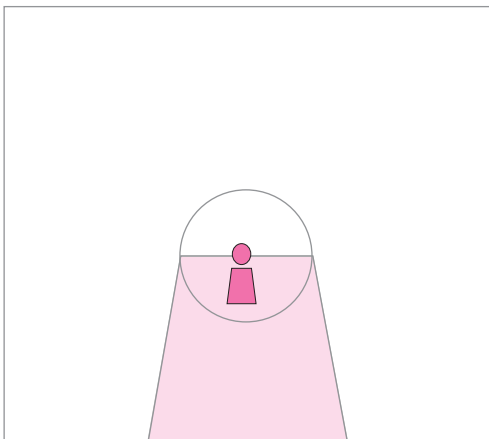
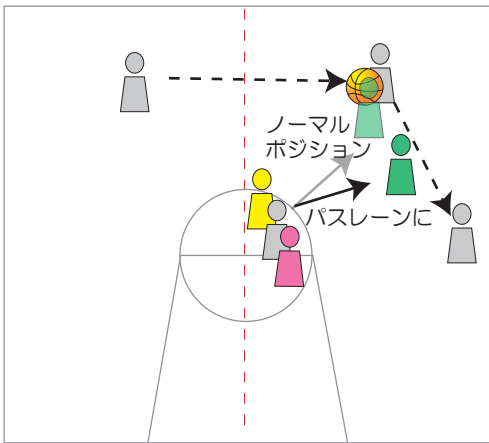
2-1-2

基本ポジション



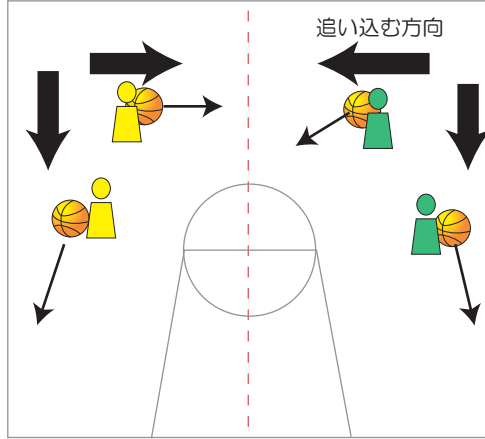
フロントマンの基本ポジション

フリースローラインより少しベースライン側に下がったところからセンターライン側です。
ノーマルな2-1-2の場合、オフェンスのシューティングエリアより遠くまで守りに出る必要はありません。



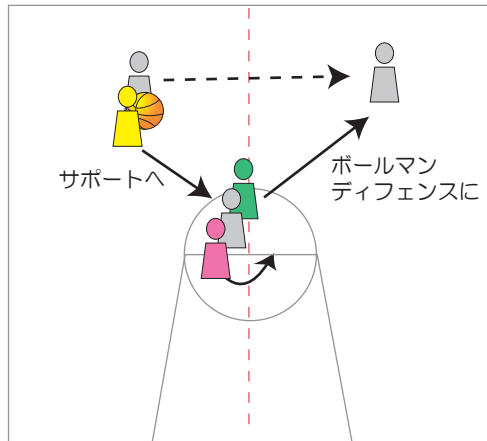
センター

制限区域内が基本的な守備範囲です



ボールマンディフェンス

エリア内でボールを持っているプレイヤーに対してはプレッシャーをかけます。その他のポジションではトップエリアではやや外側から内側へと追い込むように方向付けし、ミドルラインを越えないパスに対してはそのままマークします。両方のウィングエリアでは内側から外側へ追い出すような付き方をします。他のエリアにボールが移動した場合には、ハイポストエリアを必ずカバーします。

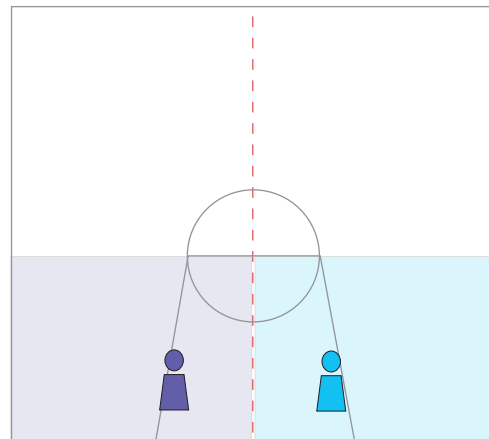


サポートディフェンス

ボールマンディフェンスではないほうのフロントマンは、ハイポストエリアをカバーし、守ります。エリア内でミドルラインを越えるパスがあれば、ボールマンディフェンスへと飛び出します。

パスレーンディフェンス

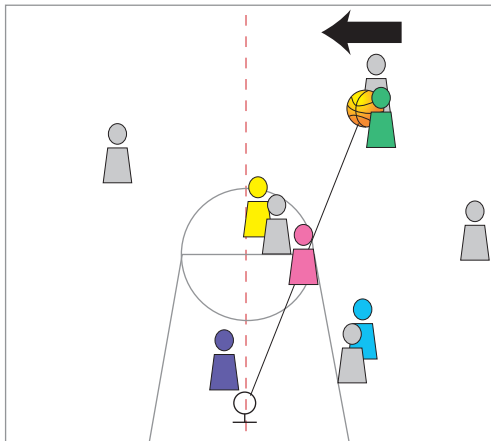
オフェンスのリズムを崩すために、ボールマンに当たらずに、次のパスコース上にポジションを取ってパスカットを狙います。時々こういったポジション取りを混ぜると、相手を困惑させることにつながるので、臨機応変に使っていきましょう。



ボトムマン

フリースローラインよりエンド側で、ミドルラインで左右に区分します。

ボールの位置による変化



ボールがトップエリアにあるとき

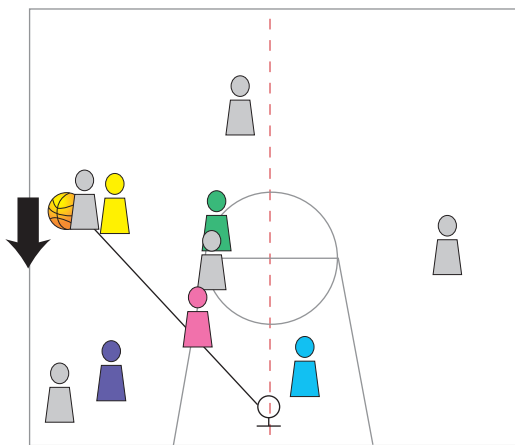
フロント1：ボールマンディフェンスとして内側に追い込むようにプレッシャーをかけます。

フロント2：サポートとしてハイポストエリアをカバーします。

センター：ボールゴールを結ぶ線が基本ポジションです。ハイポストやローポストに入ってくる相手によって臨機応変に動きます。

ボトム水色：ボールサイドのボトムマンはいつでもウィングエリアをカバーできるように、制限区域から少し飛び出してポジションを取ります。

ボトム紫：逆サイドのボトムマンは制限区域内から出ないようにしながら、ヘルプサイドを広くカバーします。



左ウィングフロントマンエリアにボールがあるとき

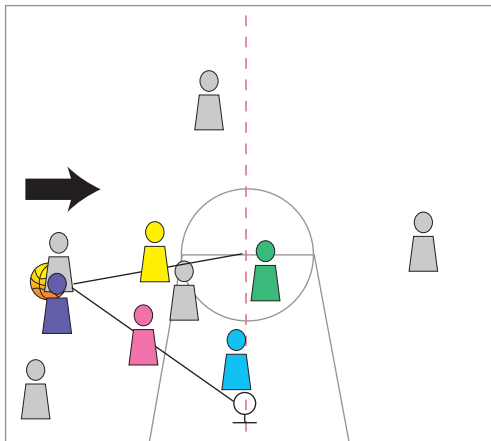
フロント1：外側に追い出すようにボールにプレッシャーをかけます。

フロント2：トップにボールがあるときと同じようにサポートします。

センター：ボールとゴールを結んだ線上に移動して、ミドルおよびローポストをカバーします。

ボトム紫：ボールサイドのボトムマンはコーナーへ飛び出せるように制限区域より外側で構えます。

ボトム水色：逆サイドのボトムマンはゴール近くへと移動しておいて、逆サイドもカバーしておきます。



左ウィングボトムマンエリアにボールがあるとき

フロント黄色：ボールとフリースローサークルの中心を結ぶ線上で、制限区域のやや外側に位置します。

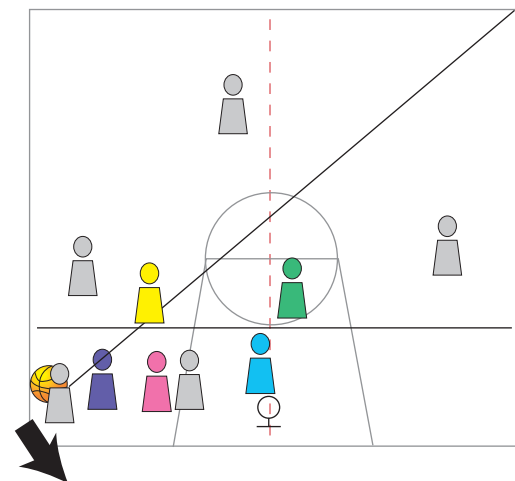
フロント緑：制限区域内でスキップパス（逆のウィングやコーナーへのパス）に備えましょう。

センター：ローポストに移動しておきます。場合によってはコーナーもカバーする準備をしておきます。

（この場合ボトムマンがコーナーへは間に合わないため）

ボトム紫：ボールマンディフェンスとして、コーナーへのパスを遅らせることを第一に考えます。そのため、ベースライン側からプレッシャーをかけます。

ボトム水色：ゴール近くに移動し逆コーナーにも注意を払います。



コーナーにボールがある場合

フロント黄色：ボールとセンターラインの逆端を結ぶ線上で、責任エリアの一番下側に位置します。

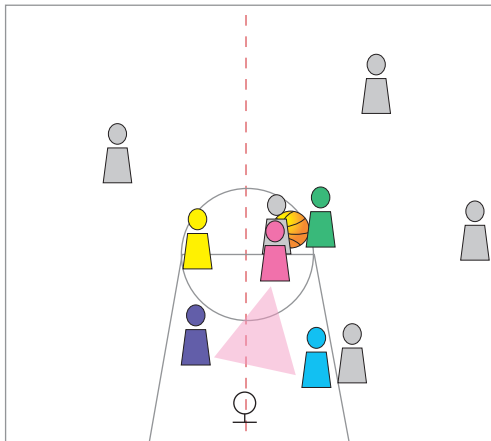
フロント緑：制限区域内でスキップパスに備えます。

センター：ローポストをカバーします。

ボトム紫：ボールマンディフェンスとしてベースライン側にプレッシャーをかけます。

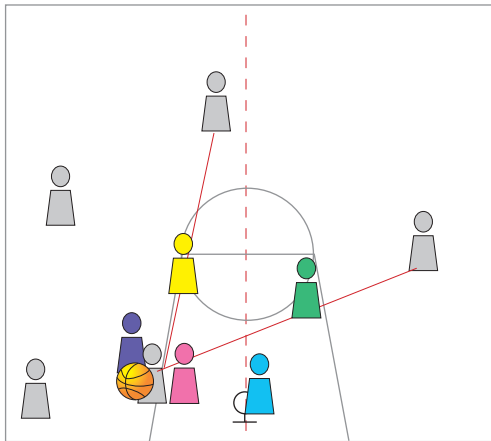
ボトム水色：ゴール近くに位置して逆のコーナーもカバーします。

ボールの位置による変化2



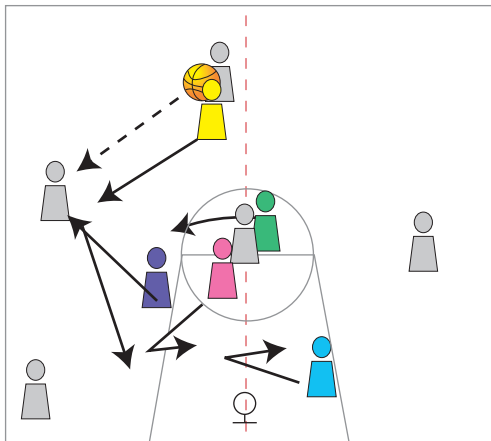
ハイポスト

ボールが入ったらセンターがボールにつき、センターが頂点となる三角形をボトムとの2人と作ります。フロントマンは基本的にはエルボー付近に位置し、近い方がボールにプレッシャーをかけ、もう一人はトップとウィングに戻るパスをケアします。



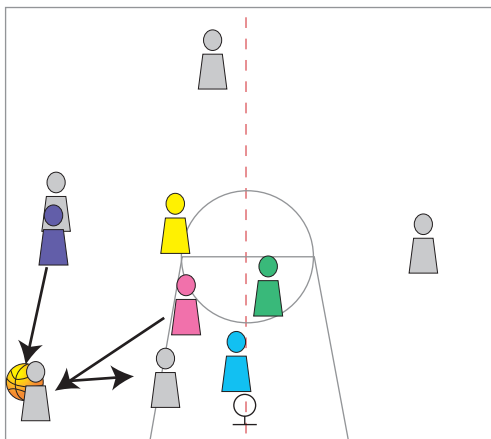
ローポスト

センターとボトムの2人でボールをはさみ、もう一人のボトムはゴール下をケア。フロントマンは外から走り込んでくるオフェンスに注意しながらアウトサイドへのパスカットをねらいます。ボールマウントアウトサイドのレシーバーのパスコースを消す位置が基本ですが、わざとそのコースをあけておき、パスカットをねらうのも悪くありません。臨機応変に対応しましょう。



ショウ&バック

大国では基本的にフロントの一人がトップへ出ている状況でウィングにパスが出た場合、もう一人のフロントがマークに行くのが原則です。しかし、図のようにハイポストをケアしていたため、ウィングへのカバーが出来ない場合があります。その場合、いったんボールサイドのボトムがウィングまで飛び出し、黄色がボールをマークしに来ると同時に受け渡し、ボトムマンはベースライン方向にドロップダウンしてローポストとコーナーをカバーする本来の位置に戻ります。センターはボトムマンに戻るまで、ハイポストとローポストを同時にカバーできる位置を取り、万が一コーナーに素早いパスが出た場合、そちらもケアする準備をします。



ショウ&バック

ボトムがウィングに出た場合、コーナーにパスをさせないことが一番ですが、コーナーにパスが出てしまった場合、いったんセンターがコーナーにカバーに行き、ボトムマンが、戻ってきたら受け渡します。非常に難しい受け渡しになるので、出来るだけコーナーにパスさせない事を考えましょう。

ボールの位置による変化3

